

SAK だより

Ski Association of Kanagawa

(財)神奈川県スキー連盟

横浜市神奈川区台町16-1 ソレイユ台町407号室
 電話 045 (311) 8907 FAX 045 (324) 6966
 ●発行者：山田 隆 ●編集責任：徳本 進
<http://www.sak.or.jp/>

第1回 チャレンジカップレポート

チャレンジカップは、これまでトップレベル中心だった競技スキーの大会をより身近に経験できるSAKの新しい試みです。第1戦野辺山、第2戦白馬岩岳、第3戦野辺山の3戦からなり、オープン参加も可能です。

今回は、白馬岩岳で2月1日から2日間にわたって行われた第2戦を取材しました。両日とも天候に恵まれ、最高のコンディションで行われました。

「裏方で支えるスタッフに感謝」

今回の行事は、コースセット、コース整備、旗門員を地元元スキースクールのスタッフをお願いしていました。早朝からスタッフが、テキパキと自分達の仕事をこなしていく様子を見ていると、やはり裏方で大会を支えてくれる人たちがたくさんいて、行事が成り立っている事を痛感させられました。休憩時間に「写真を撮りますよー」と声を



スタッフの人たち

を掛けるとみんなコースで仕事をしている時とは違い、リラックスした笑顔で集まってくれました。(感謝！)

「オープン参加で腕試し」

今回のチャレンジカップでオープン参加者は回転競技に男子1名、女子1名。大回転競技に男子7名、女子3名でした。

オープン参加者に今回の大会について感想を聞いてみました。

20代前半の男性は、「何回かレースに参加していますが、スタート順が遅いのでオープン参加に申し込んで、荒れていないバーンで腕試しが良かったのです」とのことでした。



競技中の選手

女子大回転に参加したNさんは、以前から本格的にレースをやってみたくており、公式の大会で自分のレベルがどのくらい通用するのか腕試しに来たそうです。

「今までこういう大会は敷居が高く感じられたけど、参加してみるとレーシングスーツでなくても気軽に参加できるし、コースコンディションは最高だし、また参加します」と言ってカメラに向かって微笑んでくれました。

また、この行事をホームページで知り、会社の仲間7人と参加したスキー同好者の方々は、草レースに何度も参加しているそうで、皆さんレーシングスーツでピシッと決めていました。

このグループの男性O氏にオープン

競技について感想を伺ったところ、「いいんじゃないですか！ どんどんやってほしいですね！ クラブに所属しなくても本格的な競技に参加できるのはありがたいです」と語ってくれました。オープン参加で気軽にトライできる本大会は大変好評でした。

「次回はレースに参加を」

これまでの取材では、選手の邪魔になつては申し訳ないと思い、コースには一度も入ることはありませんでした。今回は積極的に取材するため、レース中のコース整備に参加しながら、写真撮影などの取材を行いました。

大会参加者の迫力ある滑りをまじかに見て、私も「次回は取材ではなく、実際にレースに参加してみよう」と思いました。

皆さんも、レースに参加してみませんか！ レーシングスーツでなくてもOKです！。

(取材 川添 徹)



オープン参加の人たち

広報委員もポールにチャレンジ

ポール体験記

広報委員

小池 資治

ポールに初めて入ったのは、2級をとったころ、練習の一環としてでした。特にタイムも計らず、ただ単純に入っただけで、(規制されているため)滑りづらいう感じしかありませんでした。

次に入ったのは、準指検定の時です。1回目、2回目の受験では、制限滑降のタイムは平均にも及びませんでした。「ずらして滑っているから、遅いよなあ…」と納得していたので、遅いことに対してポールを本格的にやる気はありませんでした。

ただ、2回目の受験で落ちたときに、考えを改めました。実践系の種目が苦手、特にスピードが出ると腰が引けてダメです。このままでは…と思いつつ、3回目の受験となりましたが、なんとか準指検定は合格しました。しかし、この準指の受験期間に痛感した弱点…: スピードを克服するため、今シーズンは、今までより多く、ポールに入ることにしました。

今シーズンに入る前に、まず、メットとGS用の板を購入しました(ワン

ピースまでは予算の都合で買えませんでした)。

シーズン最初のポールは、「野辺山チャレンジカップ」の取材でした。ポールの裏方からの入門となっていました。感覚がありましたが、見ていると滑りたくなりますね。

次は、市協会の選手権でした。板もGS用だし、メットもあるしで、昔よりはタイムがのびるはずだったので、が:最下位の結果となってしまいました。悔しいので、次回こそはと思い、社内の大会に出ましたが、これもほとんど最下位でした。

ポールで難しいのは、コースとりです。ポールのすぐ手前でターンすると、ブレーキをかけてポールに入るのが遅くなります。このことを考えて、ポールのなるべく手前から入ると楽なのですが、(下手だから)大きく回りすぎて、や



取材中の小池広報委員

っぱり遅くなります。

いかにスピードを落とさず、ポールをくぐるか? まだ全然わかりません。滑れば滑るほど、自分の遅さが実感できるようになってしまいました。特に、普通の人ならタイムがのびる高速なセツトの場合は、顕著に差が現れます(逆に、ポールが左右に大きく振ってあって、タイムが出にくいセツトの方が、元から遅いために、差が出にくいようです)。

今シーズンは、練習を含めて全部で

ポールをやるには

基本的に、ポール練習を個人レベルで行うには、まずスキー場のパトロールにポールバンの使用許可をもらいます。ポール、ドリル、ポールレンチなどの必要機材がない場合は、スクール等で借りることになります。

また、ポールの代わりに、ゴルフクラブの保護用ネット(ネットロン)を20本ぐらい使ってセツトすれば、もっと手軽にポールの気分が味わえます。これだと、初心者にも恐怖心なくポールの基礎練習が可能になります。運搬も軽く、それほどかさばらないのですが、エッジで簡単に切れてしまうので注意が必要です。ただ、この場合もスキー場の許可を得て行

3回ポールに入りましたが、もっと練習が必要であることを痛感しました(一本終わると、足がガクガクでした。オフトレをさぼってた結果も出たようです)。

来シーズンこそは、上位に入れるように練習するつもりです。

ポールは、公平な数字で結果が出るので、がんばりがいがあると思います。人並みにタイムが出せるようになれば、今より滑りも上達すると信じて、来シーズンもポールに入りたいと思います。

うことになりました。

最近、ポールをかなりやっている人の話では、昔のように自分たちでポールをセツトすることはなくなり、常設のポールレッスンやレーシングキャンプに参加するようになったということ。その理由は、機材の値段が高くなったこと、セツトの間が格段にかかるようになったこと、そして、技術の向上により、自分たちのセツトではやさしすぎて、有効な練習にならないと感じるからという事です。そして、そういうレーシングキャンプなどから練習を始めた人のほうが上達が早いということです。

(守谷 紀幸)

SAK事務局から

すべて「運係プレー」で



事務局長
越前谷 芳隆

前期誕生した、事務局長という役職を引き続き担当しています。SAK事務局をつまぐ運営するため、細井佳子さんと伏屋眞澄さんの2人の事務局長と、百海廷理事の計4人のメンバーでがんばっています。前年度からは土曜日も事務局員が在局しています。

総務本部の一部である事務局は、「雑務局」とも言えます。各委員会や本部が活動するのに適切な材料を、「ピシッと整えておくのが任務です。仕事は「財団に関する法務手続き」「神奈川県教育長への資料の提出」「SAKの各種会議の運営」「理事会や評議員会の資料作成」など多岐にわたります。

2名の事務局員はプロとしてSAKに携わっていますが、担当理事は何年かごとに変わります。次の担当者にスムーズに引き継ぐためと、守備範囲の広い仕事を簡略化するため、できるだけ仕事のマニュアル化を図っているところです。

事務局では、片常務理事（兼総務本

部長）の発案を受けてサーバーを導入し、3台あるパソコンをLANでつないで情報を共有化できるようにしました。各行事の旅費の計算やデータの集計なども、パソコンを有効活用することでだれもがスムーズにできるようにしておきたいと思っています。

難しいのは、SAKとして今後どこまで個人情報を管理するのかという問題です。SAJの資格登録をスムーズに行い情報を的確に送るなどの会員サービスをするには、SAK側は会員の個人情報をも的確に把握しておきたいのですが、一方で、会員の中には「電話やマンション名まで知らせたくない」と考える人もいます。

事務局には、各本部や指導委員会などからいろいろな問い合わせがあり、どこまで情報を流していいかというジレンマがあります。それでも、会員の質問や要望にはできるだけ答えていきたい。ただし個人情報の扱いが難しい時代に来ていることも確かなので、この問題は今後の課題としてじっくり取り組んでいきたいと思っています。

表に出て活動するのが競技本部や教育本部なら、それを支えるのが総務本部という大きな土台。事務局はすべてが円滑に動くためのいわば潤滑油です。事務局では2人の事務局員が柱になって毎日活動しています。すべて運係プレーでやっていることと思っています。

活性化委員会スタート

平成15年4月22日（火）、県社会福祉会館で「活性化委員会」が開催された。昨年10月の理事会で、山田専務理事から提案のあった「低迷するスキー界を活性化するための普及プロジェクト」を具体化したものだ。



左から片常務理事、竹腰委員長、佐々木副委員長

委員長 竹腰 誠（教育）、副委員長 佐々木生道（教育）、
委員 守谷紀幸（広報）、井田美奈子（総務）、斉藤幸雄（教育）、
岡崎 勇（教育）、中田 圭（競技）、
望月 博文（スノーボード）、望月光弘（教育）
アドバイザー 片忠夫常務理事、上田英之総務本部理事

内容は、7月24日の評議員会に提案されることになる。

会議冒頭、「あせって活性化する必要はあるのだろうか？ 少数精鋭でもいいのではないか。SAJ登録するメンバーをアピールできれば、自然に会員数は増えるはず」との意見が出て、その後の議論の口火を切った。

「スキーヤーの平均年齢が上がっており、このままでは先細りになる危機感を抱く。ジュニアの育成に力を入れるべきだ」「30代の子育て世代をスキー場に引っ張り出すのが得策」「一口カルなスキー場を巻き込んで、様々なサービスを提供してもらうなどしては」

理事会からの諮問事項は「低迷するスキー界にあつて、潜在的なスキーヤーの掘り起こしを行う」「SAKの組織に新風を吹き込み、各事業を活性化」のふたつ。委員会で論議された

最後に竹腰委員長が「どこに目を向けていくべきか、楽しいスノースポーツに多くの人が参加するためにまず何をなすべきか、今後議論を深めていきたい」と委員会をしめくくった。

平成14年度公式記録

◎第1回チャレンジカップ
 会場：野辺山スキー場
 日程：平成14年12月20日(金)〜22日(日)
 女子大回転
 1位 平賀智実 (相雪 S C)
 2位 市川 涼 (タックス)
 3位 市川 智 (タックス)
 4位 市川 智 (タックス)
 5位 市川 智 (タックス)
 6位 市川 智 (タックス)

◎第2回野辺山大会
 会場：野辺山スキー場
 日程：平成14年12月20日(金)〜22日(日)
 男子大回転
 1位 平賀智実 (相雪 S C)
 2位 市川 涼 (タックス)
 3位 市川 智 (タックス)
 4位 市川 智 (タックス)
 5位 市川 智 (タックス)
 6位 市川 智 (タックス)

◎南関東スノーボード競技会兼
 第58回団体スキー競技会
 会場：池の平スキー場
 日程：1月17日(金)〜19日(日)
 男子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 長谷川 裕紀 (S A C)
 3位 金井 啓太 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎南関東スノーボード競技会兼
 第58回団体スキー競技会
 会場：池の平スキー場
 日程：1月17日(金)〜19日(日)
 女子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 長谷川 裕紀 (S A C)
 3位 金井 啓太 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第4回神奈川県アイススターズ
 選手権大会
 会場：上越国際スキー場
 日程：1月18日(日)〜19日(日)
 男子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎南関東スノーボード選手権大会
 会場：上越国際スキー場
 日程：1月18日(日)〜19日(日)
 男子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第5回神奈川県アイススターズ
 選手権大会
 会場：上越国際スキー場
 日程：1月18日(日)〜19日(日)
 女子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎南関東スノーボード選手権大会
 会場：上越国際スキー場
 日程：1月18日(日)〜19日(日)
 女子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第20回神奈川県選手権大会
 スピド種目
 会場：上越国際スキー場
 日程：1月21日(火)
 男子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第20回神奈川県選手権大会
 スピド種目
 会場：上越国際スキー場
 日程：1月21日(火)
 女子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第2回神奈川県新高度スノーボード大会
 会場：山手山高原スキー場
 日程：1月24日(金)〜26日(日)
 男子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第2回神奈川県新高度スノーボード大会
 会場：山手山高原スキー場
 日程：1月24日(金)〜26日(日)
 女子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第1回チャレンジカップ
 第2戦若岳大会
 会場：白馬岳スキー場
 日程：1月31日(金)〜2月2日(日)
 女子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第1回チャレンジカップ
 第2戦若岳大会
 会場：白馬岳スキー場
 日程：1月31日(金)〜2月2日(日)
 男子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第59回国民体育大会
 会場：名寄ヒアシスキー場
 日程：2月22日(土)〜25日(月)
 男子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎第59回国民体育大会
 会場：名寄ヒアシスキー場
 日程：2月22日(土)〜25日(月)
 女子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 山本 智 (S A C)
 3位 山本 智 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

◎南関東スノーボード競技会兼
 第58回団体スキー競技会
 会場：池の平スキー場
 日程：1月17日(金)〜19日(日)
 男子大回転
 1位 山本 智 (S A C)
 2位 長谷川 裕紀 (S A C)
 3位 金井 啓太 (S A C)
 4位 山本 智 (S A C)
 5位 山本 智 (S A C)
 6位 山本 智 (S A C)

大回戦 【女子一般成年】 1位 山田かすみ (川崎市) 【女子成年A】 1位 松村ゆり子 (津久井町) 【男子成年C】 1位 松原 章 (相模原市) 【男子成年B】 1位 小林 研 (相模原市) 【男子成年A】 1位 西原 秀昭 (川崎市) 1位 岡本雄一 (川崎市)	【成年C 20kmランカ】 1位 北川 松男 (座間市) 【成年B 20kmランカ】 1位 工藤 達夫 (横須賀市) 【成年A 40kmランカ】 1位 藤田 修士 (横須賀市) 【一般成年 40kmランカ】 1位 小笠 雅浩 (横須賀市) 【成年男子 3x2.0kmリレー】 1位 横須賀市	2位 藤田 修士・工藤 達夫・小笠 雅浩 3位 伊藤 英樹・阿部 忠雄・岡本 雄一 3位 厚木市 3位 横須賀市 3位 横須賀市 小野 祥二郎・藤田 守・川口 茂樹 北條 智宏・三浦 智・桐生 武 4位 相模原市 内藤 誠・野元 義和・坂下 誠光	総合成績 1位 川崎市 2位 相模原市 3位 横須賀市 4位 厚木市 5位 横須賀市 6位 平塚市 町村 対抗 1位 城山町	◎第61回 神奈川県スキー選手権大会 会場：上越国際スキー場 日程：3月7日(金)～9日(日) 回戦競技 【少年女子】 1位 平賀 安奈 (シヨウナキッズ) 2位 平賀 亜里沙 (シヨウナキッズ) 3位 井出 麻子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 三浦 沙々 (SCとんぐり) 6位 川上 奈々 (関東学院高校)
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3位 平賀 淳人 (川崎SC) 4位 齋藤 義朗 (慶應義塾高校) 5位 齋藤 達也 (慶應義塾高校) 6位 藤原 小鳥 (桐光学園高校)	【男子成年】 1位 岡本雄一 (いすゞ川崎) 2位 堀内 伸一 (富士FMスノー) 3位 堀内 亮介 (シビティス) 4位 高野 一樹 (日立横浜) 5位 市川 敏行 (ビッパルブルグ) 6位 矢野 太朗 (ビッパルブルグ)	【男子成年B】 1位 青野 浩朗 (東芝) 2位 山上 誠英 (テルモ) 3位 小島 智之 (キヤノン) 4位 北野 教正 (IBMスキー部) 5位 西久保 勝 (東芝) 6位 阿部 忠雄 (東電コロポック)	【男子成年A】 1位 川村 剛 (ヘルパースピード) 2位 中村 英則 (自衛隊スキー部) 3位 島 丈明 (日通工) 4位 三浦 智 (SCとんぐり) 5位 水野 浩二 (日産車体) 6位 水野 浩二 (オールベルグ)	大回戦競技 【男子成年】 1位 藤本 千絵 (シヨウナキッズ) 2位 藤本 千絵 (シヨウナキッズ) 3位 藤本 千絵 (シヨウナキッズ) 4位 藤本 千絵 (シヨウナキッズ) 5位 藤本 千絵 (シヨウナキッズ) 6位 藤本 千絵 (シヨウナキッズ)
--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2位 森山真一郎 (キヤノン) 3位 岡本雄一 (いすゞ川崎) 4位 岡田 真也 (SCカヌー) 5位 堀山 誠人 (富士FMスノー) 6位 仲矢 伸一 (富士FMスノー)	【男子成年】 1位 教正 (IBMスキー部) 2位 市川 敏行 (神奈川若葉) 3位 高野 一樹 (日立横浜) 4位 牧野 弘行 (日産車体) 5位 清水 雅夫 (びいたあばん) 6位 山上 誠英 (テルモ)	【男子成年B】 1位 後藤 (三菱電機鎌倉) 2位 森川 裕之 (横浜スキー) 3位 香川 慎一郎 (ユール) 4位 荒井 晃一 (東電コロポック) 5位 伊藤 忠義 (横浜アルペン)	【男子成年A】 1位 武井 智志 (東野) 2位 中村 志徳 (長野) 3位 高木 雅也 (オールベルグ) 4位 斎藤 広美 (厚木スキー) 5位 門倉 孝 (厚木スキー) 6位 斎藤 広美 (厚木スキー)	◎第2回 白馬五重スキー場 会場：白馬五重スキー場 日程：3月15日(土)～16日(日) 回戦競技 【女子】 1位 武井 智志 (東野) 2位 中村 志徳 (長野) 3位 高木 雅也 (オールベルグ) 4位 斎藤 広美 (厚木スキー) 5位 門倉 孝 (厚木スキー) 6位 斎藤 広美 (厚木スキー)
----------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1位 平賀 亜里沙 (シヨウナキッズ) 2位 宮川 友美 (関東学院高校) 3位 石井玲央香 (関東学院高校) 4位 石井玲央香 (関東学院高校) 5位 石井玲央香 (関東学院高校) 6位 石井玲央香 (関東学院高校)	【女子成年】 1位 梅村 祥子 (日立小田原) 2位 新田あずさ (IBMスキー部) 3位 新田あずさ (IBMスキー部) 4位 新田あずさ (IBMスキー部) 5位 新田あずさ (IBMスキー部) 6位 新田あずさ (IBMスキー部)	【女子成年B】 1位 森川 順子 (下ノネジユ) 2位 鹿野 亜季子 (横浜スキー) 3位 鹿野 亜季子 (横浜スキー) 4位 鹿野 亜季子 (横浜スキー) 5位 鹿野 亜季子 (横浜スキー) 6位 鹿野 亜季子 (横浜スキー)	【女子成年A】 1位 橋口 博 (個人) 2位 近藤 浩二 (個人) 3位 近藤 浩二 (個人) 4位 近藤 浩二 (個人) 5位 近藤 浩二 (個人) 6位 近藤 浩二 (個人)	◎第3回 チャレンジカップ 会場：野辺山スキー場 日程：4月5日(土)～6日(日) 回戦競技 【女子】 1位 橋口 博 (個人) 2位 近藤 浩二 (個人) 3位 近藤 浩二 (個人) 4位 近藤 浩二 (個人) 5位 近藤 浩二 (個人) 6位 近藤 浩二 (個人)
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1位 平賀 安奈 (シヨウナキッズ) 2位 三浦 奈々 (SCとんぐり) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年男子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	◎第1回 白馬五重スキー場 会場：白馬五重スキー場 日程：3月15日(土)～16日(日) 回戦競技 【女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1位 平賀 安奈 (シヨウナキッズ) 2位 三浦 奈々 (SCとんぐり) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年男子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	◎第2回 白馬五重スキー場 会場：白馬五重スキー場 日程：3月15日(土)～16日(日) 回戦競技 【女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1位 平賀 安奈 (シヨウナキッズ) 2位 三浦 奈々 (SCとんぐり) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年男子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	【少年女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)	◎第3回 チャレンジカップ 会場：野辺山スキー場 日程：4月5日(土)～6日(日) 回戦競技 【女子】 1位 関 麻美子 (関東学院高校) 2位 関 麻美子 (関東学院高校) 3位 関 麻美子 (関東学院高校) 4位 関 麻美子 (関東学院高校) 5位 関 麻美子 (関東学院高校) 6位 関 麻美子 (関東学院高校)
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◎A級検定員合格者
◎B級検定員合格者
◎C級検定員合格者
◎各種検定員等合格者
◎スノーボードSAJ準指導員合格者

●●●(座談会)●●●

「スキー活性化のために」

～各協会・クラブの取り組み～



徐々に減少を続けてきた神奈川県スキー連盟の登録会員数が、ついに今シーズン7,000人を大幅に割り込んだ。逆境の中、各協会やクラブはいかにスキー人口を確保しているのか。それぞれ所属するクラブや団体で地道に活動するメンバーに現状を語ってもらった。突破口はどこにあるのかを探る。

日帰りスキーなら参加しやすい

A「私たちの協会では、市の広報誌に行事案内を載せ、体育センターにちらしを置いて宣伝している。ほかに地元ケーブルテレビでテロップを流してもらったり。見ている人がいるかどうかは疑問だけど…」

B「ホームページで宣伝すると効果があるよ。数は少ないが、確実に参加したい人が見てくれる」

C「協会も県連と傾向は同じ。行事参加者の8割が固定客で、その人たちをいかに満足させるかが企画の出どころ。うちのツアーでは、これまで現役デモが参加して指導してもらえるのが魅力のひとつだった。ただそれでも参加者は、新規も含めて増えていない。これからどうするかが課題だ」

D「先日、協会で日帰りの「親子スキーツアー」を企画して学校に案内を配布したら、たちまち120人の定員いっぱいになった。キャンセル待ちが出るほどでびびくりした。教育委員会を通じて配布したので、親も安心したのだろう。日帰りとしたのも、来やすかった一因ではないか。ポイスカウトなど3団体の参加もあった」

E「クラブで日帰りツアーをシーズンに何回か行っている。中央高速道路沿いのスキー場なら早朝出発でも午前10時には到着できる。夕方まで目いっぱい滑って帰ってくれば、けっこう満足してもらえるよ」

競技が突破口に

B「今年の市民大会は130人集まった。競技スキーは固定客がいるし、やりたいたい人が増えているよ」

E「クラブ合宿で最近ポール練習を始めた。「市民大会に出よう」と声をかけたなら「練習したい」との声が多かった。ブルークボゲンしかできない

人も市民大会に出場して感激していたな」

D「SAKのチャレンジカップを見に行っただけ、オープン参加の人がけっこういた。レーシングスーツを着ていない基礎スキーっぽい人も参加していたし。競技はスキー界活性化の突破口になるかもしれない」

B「オープン化の案はうちの協会も検討中。歴史ある市民大会なので、メジャーなスキー場のメジャーなバーンを滑ることができる。参加者にとってもおいしい話のはずだ」

C「基礎スキーは3級、2級、1級とチャレンジしてパワーを使い尽くし、そこでやめちゃう人がけっこういる。競技は0.1秒でも縮まればうれしい、それが際限なく続いていく。結果がはっきり現れるところがいいね」

B「昔は基礎系の協会行事に人が集まって協会運営を助けたが、いまは逆に赤字だった競技の市民大会が、運営しやすくなっている。参加人数は横ばいだけど、「入賞者への賞品は上位だけ」などこれまでの経費削減の努力が効いてきた。大会を運営する役員は6、7人。あとは現地役員を借りたり、参加者に旗門員をやってもらったりして」

ジュニアをターゲットに

E「市民大会に出場する小中学生の人数がずいぶん増えていると、このごろ

実感することが多いね」

D「競技の市民大会で初めてジュニアのクラスを設けた。ジュニアが10人参加して、そこに親もついてきた。ジュニアをつかまえるのは二重の効果があるよ。ジュニアの参加費は1000円で無料のスキースクールも併設した。それも魅力だったのかな。新しいことをやればポツポツ人は来るということがわかった」

C「子供が参加するツアーは24時間めんどろをみないといけない。学校の先生が参加してくれればいいけれど。どうすればうまくやるか教えてほしい」

A「協会で、3月末に親子ツアーを2泊で企画した。小学2年生以下は親同伴とした。部屋割りには、親は親、子供は子供同士。ぜんそくや自閉症の子なども参加する。子供を教えるのは面白いね。めきめき上達していくのがわかるから」

B「うちは子供だけのスキー教室。指導員の資格を持つ学校の先生が生徒を10人ほど連れてきてくれた。障害のある子も先生がつきそって、友だちもい子ばかりでサポートしてくれる。たいへんなことばかりだが、終わってみると、また来年もやってみたくなるよ。スキーに行くことの楽しさを、子供たちも感じてくれたらいいな」

(座談会まとめ 中里健一、大井智子)



指導員会だより

幹事長 大山重彦

不況の時こそチャンス

副会長 草薨 純也



今シーズンも終わりに近くなりましたが、世の中の不況はまだまだ続きそうです。スキー業界も例にもれずあえいでいる状態が続きそうです。

業界としては大変な事態ですが、個人としてはこれをチャンスとして捉えて生涯スポーツを充実させる好機かと思えます。渋滞は少ないし、リフトは混まないし、場所によってはリフト代不要もあり、宿泊費も割安になっています。以前と比べて条件が整ってきています。

これを踏まえて さて、あなたの実力は如何ですか？ 資格を取るのが目標ではなく、資格は通過点に過ぎないことを自覚していただき、カービングスキーを駆使して更に技量をブラッシュアップし、決して「どのスキー場の先生方も教え方が三十年前と同じ」とは言わせないよう楽しいスキーを教えたいものです。

お金をかけずに滑る機会は、探してみると意外と多いものですよ。

行事レポート

第19回指導員会フェスティバル

平成15年4月5日～6日

会場 車山高原スキー場

今シーズン最後の雪上行事として、220名のスキー大好き人間が車山に集い楽しみました。クラブの納会を兼ねたところもあり、パーティ・御諏訪太鼓・抽選会・そして翌日の快晴の中でのレースと大変盛り上がりしました。
(詳細はホームページにて)



これからの事業案内

第66回指導員会親睦ゴルフコンペ

日 程 平成15年6月5日(木)
場 所 大月カントリークラブ
募集人員 80名(20組)
担当役員 古藤副会長他

平成15年度

神奈川県スキー指導員会総会

日 程 平成15年8月31日(日)
会 場 ワークピア横浜
(日程・会場とも「予定」)
*多くの方のご参加をお願いします

指導員会からお願い

今シーズンみごと準指導員に合格された94名の皆さん、指導員会では皆さんの若い力と斬新なアイデアを必要としています。合格発表の時には54名の

方に入会していただきました。入会手続きをまだされていない方、入会をされて指導員会を変えていきませんか。お待ちしております。
(合格発表の喜びの光景)



神奈川県スキー指導員会ホームページのお知らせ

URL: <http://www.fsinet.or.jp/~sik/index.htm>

神奈川県スキー連盟のホームページ <http://www.sak.or.jp/> のリンク集からもたどれます。

各行事の案内をはじめ大会リザルトや特別寄稿など会員の皆さまに有用な情報をタイムリーに提供する一方、掲示板「みんなの広場」で会員相互のコミュニケーションをはかるコーナーもあります。

今後、更に親しまれ、役に立つホームページになるよう内容の充実に努めて参ります。皆さまのご来訪をお待ちしております。

SAKトップに 直撃インタビュー

この「コーナー」3人目は、SAK片忠夫常務理事の登場です。これまでのスキー人生やSAKに対する熱い思いをお話していただきました。

幼い頃から慣れ親しんだスキー

片さんは、新潟県新井市出身。「何にもないところだからね、遊びと言えばスキーか、家の中でテーブルをくっつけて、卓球するしかなかったよ」。中学生になると旅館でのアルパイトの休憩時間にせつせとスキー場へと通った。「当時、三浦雄一郎率いる「スノードルフィン」というチームがあつてね、今で言うエアリアルみたいなデモをするんだよ。空中で2回転しているのを見て、スキーは上手くないと楽しくならないんだなって実感したんだ」。高校生の時、お兄さんと共に、新赤倉スキー場で1級を受験する。受験者18人の内、片兄弟だけが合格。講習が苦手だった片さんは、事前講習も受けずに(当時は義務付けられていなかった)受験し合格した。検定員からも驚きの声があがったという。当時、高校の体育教師ですら2級しか持っていないな

かつたのであるから、高校生で1級というのはすごいことだった。

「準指」と呼ばれた

高校卒業後、上京。社会人になってからもスキーを続けていた片さんは準指導員を目指す決心をする。「20才で1回目受けたけどね。最終日、戸隠のシルバーの総滑ススタートで、気合い入れてエアターンしたら板が外れて、林の中につっこんじやったんだ。当時の準指は1種目でも落とすとダメだからね必死で起き上がろうともがいたけど、「238番乗権！」って声が遠くから聞こえてき、二度と準指なんか受験するか! と思ったよ」。

帰りのバスに乗りあわせたのが皆不合格者。当然のことのように検定への不満やぐちが飛び交い、大宴会になった。「殆どの人が「二度と受けない!」って言ったのに、1年経ったら殆どみんな受験しに来ていたよ」。片さんが再度挑戦した理由は何だったのか。「やっぱり、スキーが好きだったんだよね。それに「準指」という言葉の響きも好きだった。「準指」になりたかったし、「準指」って呼ばれたかった」。片さんは二度目の受験でベスト10に入り合格した。

大手術からの復活

その2年後、人生最大のピンチが訪

れる。急に体調を崩し、緊急入院。検査の結果「水腎症」ということが判明し、左腎臓摘出という大手術を経験する。

1ヶ月の入院生活、3ヶ月の休業。1シーズンを棒に振ることになった。3月に退院した片さんは、次シーズンに向け神奈川県で「デモになる」という目標を設定、6月からリハビリを兼ねたトレーニングを開始した。そして念願のデモ認定。「認定式では涙がとまらなかつた。デモに認定された嬉しさよりも、左腎臓摘出という大手術からよくここまで復活した、と言う思いが大きかつたね」。



デモ認定後、スキーに対する思いはますます強く25歳で正指導員に合格する。SAJ専門委員を務め、プロック技術員も4年経験する。「SAJ専門委員になったとき、公式視察団としてイタリアに第11回インタースキーを見にいったんだ。世界のスキーを目の当たりにして、自分にはスキー技術をSAKにフィードバックする使命があ

るんだって強く思ったね」。

「開かれた組織」を目指す

しかしその後、スキー活動からしばらく離れることになる。「仕事が忙しく、10年も遠ざかることになった。山田専務理事からの「戻って来い!」って声で復帰することになったんだ」。現在SAK復帰3期5年目、常務理事という立場にあつて、やりたいことがよりやりやすくなったと話す。「SAKは会員みんなの組織。役員のものじゃない。昔に比べて今は情報開示が進んで、開かれた組織になったと思う。財団法人になったこと、ホームページの力が大きいと思うよ」。財団法人になるということは、組織が人格を持つということ。そこにはルールが存在し、組織はルールにのっとって活動する。「スキーが好きという気持ちは当然あるけど、僕は不正とか独裁ということが大嫌いなんだよね。今はちゃんとやればそういう思想が定着するし、そういうことに力をいれたいと思うんだ」。片さんは真剣な目で話してくれた。最後に、SAKの役員を務めていて良かったことは何か尋ねてみた。「すばらしい人と出会えたこと。ただ仕事だけしていたのでは、出会えないような人にたくさん出会えた。みなさんとは一生つきあっていきたいと思うよ」。(インタビューまとめ 三浦重矢子)